

イラストの例に続き、言葉の例も見てみましょう。

日常会話の中のジェンダー表現



会社紹介のイラスト(変更後)



家族のイラスト(変更後)

「ご主人は元気?」「○○さんは良妻賢母だね」「この取引のキーマンは○○さんだ」「○○さんはこのカフェの看板娘だよ」。これらの表現は、日常でよく使われていますが、男女共同参画の視点で考えると次のような問題があります。「主人、旦那、奥さん、家内」という表現は、男性を主、女性を従とし、女性は家の中にいるような印象を与えます。「夫、妻、配偶者、パートナー」等がより望ましい表現です。「良妻賢母、内助の功」は、性別に一定の役割やイメージを結び付けるため、表現を避けましょう。ビジネスシーンでよく使われる「キーマン、ビジネスマン、営業マン」といった表現は、職業を不必要に男性に限定しています。性別を限定しない表現としては、「キーパーソン、ビジネス

パーソン、営業社員」等があります。また、例えば「看板娘、職場の花」のような表現は、褒め言葉のつもりでも、女性を鑑賞の対象としたり、容姿を強調したりする表現に聞こえ、好ましくありません。人格を尊重し、実績やスキルなどに焦点をあてましょう。この他にも、合理的な理由なく女性であることを強調する表現(女流作家、女社長、女子アナ等)、性別で個性を決め付ける表現(男顔負け、男まさり、女々しい等)についても、見直しの必要性が指摘されています。

発信する前にセルフチェックを

ネット上のコミュニケーションツールが普及

し、誰もが簡単に情報発信する中で、知らず知らずのうちにジェンダーについて不適切な表現をしてしまう可能性があります。そのため、個々人が適切な表現方法を身に付けることがますます大切です。情報を発信する際は、性別を問わず使用できる表現であるか、性別で役割や個性を決め付けるような表現になっていないかを投稿前にセルフチェックしましょう。ジェンダー表現を学び、工夫することは、固定観念にとらわれずに人や物事を理解し、説明することにつながります。それは、あなたが発信する情報の正確さを高めたり、人との信頼関係を深めたりすることにもなります。できることから、取り組んでみましょう。

いいね! ボタンを押す前に -ジェンダーから見る空間とメディア- 李美淑、小島慶子他(著) 亜紀書房



悪気なく人を傷付けてしまわないために。SNSユーザーの基礎知識が満載です。

早く絶版になっほしい #駄言辞典 日経xwoman(編)



「女性なのに仕事ができるね」「男なんだから黙って働けよ」等、心をくじく「駄言」を集め、「絶版」を目指して作られた本です。

おすすめ本 パステル

